

I はじめに

本報告書は、職業訓練研修研究センターと君津技能開発センターとの共同研究として、平成元年度から開始し平成3年度で終了するプロジェクト研究「職業転換にともなう教育訓練プログラムの開発」の成果を取りまとめたものである。

以下に、この開発研究の基本的な考え方と開発経緯を記す。

1 中高年齢者を取りまく状況

職務に就いて経験を重ねその職種の熟練工となった人も、職業生涯において同一職種で終わることが難しくなってきている。別の職種に移動しないまでも、技術革新の急激な変化のなかで、ME化等のようにまったく新たな知識・技能が要求される。その職種以外の企業全体の業務を知ることも要求されてきている。

2 向上訓練コースの開発

中小企業の中高年齢者の熟練工等が、業務の多様化に取り残されないために、新たな業務に挑戦するきっかけとなる援助を、公共職業訓練施設が向上訓練として実施する方法を検討することとした。ここでは、職業転換の問題を離職してからの問題としてとらえるのではなく、在職中も含めたキャリア開発の問題として新たな「意味」を持たせた。

新たな職務に就くことを離職するしないにかかわらず職業転換として、君津地区における調査から、中小企業に働く中高年齢者の職業転換の問題に向上訓練のコース開発の可能性を検討し、教育訓練プログラムに関する構成要素を抽出した。それを調査研究報告書第53号「生涯構造転換期の中小企業向け向上訓練コース開発」によって報告した。(別添資料No.1 調査研究報告書第53号(抄)参照)

3 パーソナルコンピュータの利用

中高年齢者が長年やってきた職務に加えて新たな技能を身につけること、新たな職務に取り組むことにチャレンジするきっかけを得ること、職人気質に固執するのではなく技能革新などの変化を受け入れる態度をつくること、こうしたことに企業内では取り組めない

人たちを集めた向上訓練で、ある同一職種に限ってコース開発することもできるが、今回は職種を限定せず、共通の新しい業務としてパソコンコンピュータの利用を取り上げ、入門からある業務ができるまでの完結したコースを開発することとした。現場において在庫管理、品質管理が厳しく問われており、それらに不可欠の表計算の知識・技能をパソコンコンピュータ利用の完結した向上訓練コース内容として適当であろうと考えた。

4 基本教材「表計算 Lotus 1-2-3」のテキスト開発

君津技能開発センターでは既にパソコンコンピュータ入門コースについて、相当な実績があり、テキスト材料についても複数の指導員により何回も改訂されているので、入門編の部分ではこれらのテキストが利用できる。君津技能開発センターの地域には、新日本製鉄の関連会社が多く、同社のパソコンレベルの表計算ソフトウェアが「Lotus 1-2-3 初級 基礎編・活用編」を刊行した。(別添資料No.2 教材情報資料第4号(抄)参照)

5 向上訓練用のテキストと指導マニュアル

この基本材料は、特定の対象者用の向上訓練を想定してはいない。向上訓練のテキストは到達するレベル毎に別々に作成する必要ではなく、特殊な場合を除いては受講者の特質に対しては指導方法によって対応することができる。そこでこのテキストを基本材料として中高年齢者向き向上訓練用の指導マニュアルを作成すること等、テキストは共通で、指導マニュアルによって特定の対象者用向上訓練コースを実施することとした。

6 「指導マニュアル」及び「補助教材」の開発とコースの実施

いかに基本教材が優れても、その良さを充分發揮させなければならない。基本教材は受講者が習得すべき内容そのものであるから、重要度とか容易に理解できる学習の順序、あるいは適切な実用例に関連する発想に力点が置かれているわけではない。また、理解度や経験等がさまざまに異なる受講生に対して柔軟かつ均質な指導が求められる。特に中高年齢者にたいしてはなおさらである。これらの要件を満たす目的で「指導マニュアル」及び「補助教材」を開発することとした。

以上3年間の開発成果、活動項目、担当メンバーを次表に示す。

年度	平成元年度	平成 2 年度	平成 3 年度
開 発 成 果 (注)	調査研究報告書第53号	教材情報資料第 4 号	調査研究報告書第60号 指導マニュアル 補助教材(1), (2)
活動項目	調 査 現状分析 コースイメージの抽出	基本教材作成 「表計算 Lotus 1-2-3」 の開発	施設訪問調査 指導マニュアル作成 補助教材作成 募集パンフ作成 コース開発・試行 アンケート調査 調査研究報告書作成
担当メンバー	君津技能開発センター 森 嶋 武 職業訓練研修研究センター 戸 田 勝 也	神奈川技能開発センター 森 嶋 武 君津技能開発センター 木 下 征 男 藤 井 光 明 宇良田慎二 瀧 原 祥 夫 職業訓練研修研究センター 熊 谷 茂 雄 阪 堂 宗 孝 高 橋 辰 栄	君津技能開発センター 木 下 征 男 藤 井 光 明 宇良田慎二 瀧 原 祥 夫 菊 地 吉 晴 職業訓練研修研究センター 熊 谷 茂 雄 岸 本 隆 臣 高 橋 辰 栄

(注) 開発成果は、次のものが刊行されている。

1. 平成元年度 調査研究報告書第53号 「生産構造転換期の中小企業向け向上訓練コースの開発」
2. 平成 3 年度 調査研究報告書第60号 「職業転換にともなう教育訓練プログラムの開発」
3. 平成 2 年度 教材情報資料第 4 号 「向上訓練コース開発用教材の作成事例」
4. 平成 3 年度 教材情報資料第 4 号の 1 「表計算 Lotus 1-2-3 指導ポイント集」
5. 平成 3 年度 教材情報資料第 4 号の 2 「表計算 Lotus 1-2-3 パソコン操作入門編」
6. 平成 3 年度 教材情報資料第 4 号の 3 「表計算 Lotus 1-2-3 課題集」

以下次章に「表計算ソフトによる事務処理（Lotus 1-2-3）」コースの試行実施の経緯を報告する。